

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

令和4年4月1日

事業所名: のびのびハウス

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			活動目的に合わせて、利用者がゆったり活動出来る指導訓練室、1人で過ごしたい時に使用する個室、感覚統合や自由遊びが行えるプレイルーム等、使用しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○			児童発達支援管理責任者1名、児童指導員・保育士含めて3名以上を配置しています。また、送迎を行う支援員も配置しています。	・職員配置についての説明は契約時に行っている。 ・職員異動もある為、その都度お便りでお知らせしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			玄関からの移動は、浴室・和室・会議室を除き、段差を無くしています。また、車いすの使用が可能な多目的トイレを設置しています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			午後から、スタッフ全員で前日の療育の振り返りを行い、利用児の様子や利用児への支援方法など、共有して対応方法を検討しています。併せて、当日の療育の打ち合わせを行い、利用児に合わせた関わり方やスタッフの動きなどを確認して、療育に臨んでいます。	スタッフ同士が関連に意見交換や発言が行える様に、スタッフの意見に傾聴し、ミーティングの在り方を見直していきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○	○		毎年、年度末に評価シートを配布し、ご意見を頂き、業務改善に努めています。	業務改善後の保護者への周知・説明が不足している為、保護者の方への周知・説明を行いたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			法人のホームページにて公開を行っています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	第三者による評価は受けておりません。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			外部研修にスタッフが年一回は参加しています。また、こども総合療育センターの定期支援を受けています。併せて、内部研修も行い、スタッフのスキルアップを目指しています。	今後も、スタッフのスキルアップの為に内部研修の内容の充実を図る事や、各種研修の参加を検討していきたい。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			ニーズ表やチェックリストを保護者の方に記入して頂き、利用児の課題について、整理しながら、計画の作成をしています。	学校等、関係機関との連携を図りながら、多方面からの情報収集が出来る様にしたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			フェイスシート、チェックリスト、保護者ニーズ記入表など、事業所独自のアセスメントシートを使用しています。	チェックリスト等、項目内容の見直しや改善が必要と感ずる点もある為、アセスメントツールの改善を検討したい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○	○		活動プログラム、スケジュールの担当スタッフが毎日のプログラム作成を行い、午後からの打ち合わせ時に、スタッフ全員と確認を行っています。	利用児の課題や特性に合わせた活動の提供や、ライフステージに沿った活動プログラムの検討など、子ども達が楽しんで活動出来るプログラムの検討・実施に努めていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			創作活動や自然体験活動、感覚統合など、平日・終日に合わせて、施設内外での色々な活動を計画して、プログラムに取り入れています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		平日・休日・長期休暇に応じた課題設定は行っていないが、活動によって内容の工夫や、施設外活動を計画して、終日利用時でしか出来ない事にも取り組んでいます。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			利用児の課題やニーズに合わせて、集団活動や個別活動の取組、個別療育での取り組みなど検討して、計画の内容に取り入れています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			当日の活動リーダーを中心に、午後からの打ち合わせを実施しています。利用児の配慮点、主活動の内容やスタッフの役割分担の確認など、スタッフ全員で共有を図っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			療育終了後の振り返りは難しい為、翌日の午後からの打ち合わせと併せて、前日の振り返り・反省を行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			療育中や終了後に記録を取る事や、翌日に記録を取っています。前日の振り返りの時に必要なあれば記録に残しています。記録は、個別療育時に保護者の方へお子様の様子をお話する際に活用もしています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			6ヶ月に1回はモニタリングを行っています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			体験的活動(創作・自然体験、地域生活体験など)、自立支援活動、感覚統合活動など、様々な活動を行っています。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			主に児童発達支援管理責任者が参加しています。場合によっては、利用児の担当スタッフも一緒に参加しています。		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			学校との情報共有は必要に応じ適宜行っています。また、学校送迎時に先生と本人の様子について情報共有を行っています。		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					該当利用児がいない為、回答なし。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○				就学前に利用していた児童発達支援事業所とは、利用児の担当スタッフとの情報引継ぎなど、密に情報共有を行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している					該当利用児がいない為、回答なし。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				こども総合療育センターより、定期支援を受けて助言を頂いています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある				○		交流の機会がない事、またコロナ禍の為、交流活動の機会の有無について見通しが立たない状態。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している				○		参加依頼がない為、参加はしていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				連絡帳を活用し、事業所での様子やご家庭での様子や相談など、やり取りを行っています。また、個別療育を利用して頂き、保護者から学校やご家庭での様子をお聞きして、本人の発達状況や課題の共有を行っています。	今後も、グループ療育の利用だけでなく、個別療育の定期的な利用をお願いし、利用児だけでなく保護者支援にも力を入れていきたい。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○				個別療育の際や、面談の際など、保護者の方と懇談する機会に、相談に応じ、助言を行っています。	地域のベアトレに該当する保護者を、積極的に勧めて行きたい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				契約時に、支援内容や利用者負担、重要事項など、ご説明しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				連絡帳でのやり取りや、電話相談、また個別療育の際に、保護者の方からの相談に助言をお伝えしたり、必要があれば面談の場を設けて、対応しています。	スタッフのスキル向上の為、保護者支援についての研修も検討したい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している				○		現在、保護者会の設立はない。コロナ禍で難しい状況だが、今後、保護者同士が交流出来る機会を検討したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				苦情受付対応の体制を整備しており、契約時に保護者へ説明しています。事業所の玄関に、苦情受付ボックスの設置をしています。	
	34	定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				毎月発行しているお便りの他、LINE@を活用して活動の様子を、定期的に応答しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○				お便りやLINE@での情報発信の際は、事前に保護者の方へ掲載して良いか確認を取り、掲載する場合は利用児の画像を加工して個人特定ができない様に、配慮しています。また、関係機関へ情報提供の場合は、事前に保護者の方へ同意を得て行っています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				日本語の理解が難しい保護者には、漢字を使わず、ひらがなで連絡帳を記入したり、直接書面をみせながら説明を行っています。また、理解が難しい保護者の方に対して、連絡帳に次回の予定を記入する事や送迎の際に直接確認をする等、保護者の方が理解しやすい方法で対応しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている	○					法人全体の行事に、地域住民の方と共に利用児とご家族をご案内しているが、現在、コロナ禍の為、自粛している状況。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	緊急時対応マニュアルを整備しており、スタッフへマニュアルの提示を行っています。	各種マニュアルについて、保護者の方への周知は不足している。 今後、保護者の方への周知の方法を検討していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に、防犯・災害訓練を利用児とスタッフ一緒にしています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年、虐待について内部研修会を開催しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現在、該当する利用児はいません。 行動など、危険性を伴う利用児については、保護者との情報共有を行い、対策や配慮を行う様になっています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		現在、該当する利用児はいませんが、初回利用前の保護者聞き取りの際に、確認を行っています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット案件があった際は、迅速に報告を行い、スタッフと話し合いの場を設けています。ヒヤリハットの書類を作成し、回覧を行う、または打ち合わせ時に、他スタッフと共有を行っています。	今後、事例集を作成し、事故防止に努めていきたい。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和4年4月1日

事業所名: のびのびハウス

保護者等数(児童数): 31名 回収数: 16名 割合: %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13名	3名	0名	実際に子どもが活動している所を見ていないので分からない	保護者の方からのご要望がありましたら、随時事業所内やお子様の活動の様子を見学する事や保護者の方への説明を行う事も可能です。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11名	5名	0名	・実際に子どもが活動している所を見ていないので分からない。 ・職員の方々の配置数も専門性も、全く分からない。	保護者の方からのご要望がありましたら、随時事業所内やお子様の活動の様子を見学する事や保護者の方への説明を行う事も可能です。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14名	2名	0名	実際に子どもが活動している所を見ていないので分からない	保護者の方からのご要望がありましたら、随時事業所内やお子様の活動の様子を見学する事や保護者の方への説明を行う事も可能です。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	15名	1名	0名		
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	15名	1名	0名	月の予定表等に記入して欲しい。(活動プログラム) 連絡帳も後日になつたりで、当日の様子が分かりづらい。	当日の活動等、保護者の方やお子様にも分かりやすくお知らせ出来る様に、 月予定表の内容について検討致します。 連絡帳のお返しについては、出来る限り当日に保護者の方へご返却する様に努めて参ります。配慮が行き届かず、申し訳ございませんでした。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9名	4名	3名	・実際に子どもが活動している所を見ていないので分からない。 ・よく分からない。	
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13名	2名	1名		ご契約の際に、支援内容や利用者負担等のご説明を行っていますが再度ご説明のご希望がございましたら、個別療育時などにご説明致します。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	14名	2名	0名		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12名	3名	1名		個別療育の際の振り返りの時間や、ご要望があれば面談の場を設けて、保護者の方との情報共有や、ご相談に対するご助言が行える様に努めていきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5名	7名	4名		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10名	6名	0名		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13名	2名	1名	休校中(コロナ禍)の受入れはして欲しかった。	コロナ禍での休校時の事業所利用の受入れについて、保護者の方には、大変ご迷惑をお掛け致しました。 休校時の対応につきましては、保護者の方へ最大限の配慮を行った上で対応を検討していきたいと思います。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16名	0名	0名		
14 個人情報に十分注意しているか	15名	1名	0名			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8名	5名	3名		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11名	5名	0名	よく分からない。	
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	13名	3名	0名		
	18 事業所の支援に満足しているか	13名	3名	0名	いつも大変お世話になっております。	保護者の方々からの、貴重なご意見ありがとうございます。ご利用児や保護者の方が、ご満足頂ける支援を提供できる様、努めて参ります。今後も、のびのびハウスを宜しくお願い致します。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせ実施されることが想定されている。